

自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「イキトモ」

VOL

10

WINTER
2016



動物園と生物多様性

動物園で会いたい日本の生きものたち

動物園に行こう



動物園



LET'S GO TO ZOO

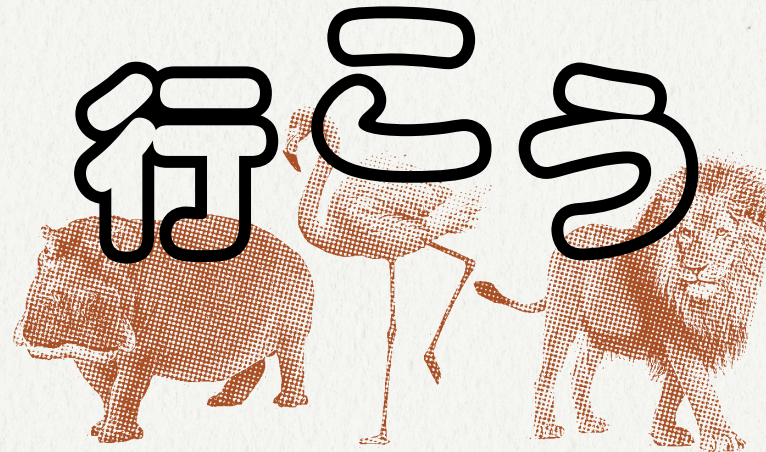
動物園と生物多様性

動物園は様々な生きものの種を展示する場所です。珍しい動物や美しい動物を見て楽しんだり、動物たちの生態を紹介するだけではありません。動物園は様々な社会的な役割を担っています。現在、ツシヤマネコやライチョウなど、絶滅危惧種の保護を全国にまたがる複数の施設で連携しています。また外来種対策、普及啓発にかかわる取り組みも推進しています。動物園に行くことで、生物多様性に触れることができます。

絶滅が危惧される動物 ① 長崎県対馬にのみ分布。イエネコと同じくらいの大きさで耳の裏の白い斑点や額の縦縞模様が特徴。生息個体数は100頭弱。現在、9カ所の動物園で約30頭が飼育され、繁殖に取り組んでいます。

ツシヤマネコ

行こう



LET'S GO TO ZOO

日本の生きものを守るために

世界的に見ても、日本には豊かな自然が残されています。国内には未だ知られていない生物も含め、約30万種を超える生物がいると考えられています。ほ乳類の4割、爬虫類の6割、両生類の8割が日本にしか生息していない固有種。そんな日本で今、多くの生物たちが絶滅の危機に瀕しています。動物園では地域の生きものの展示や生息域外保全*に力を入れているところがあります。私たちの身近にいる動物たちと生物多様性について考えてみましょう。

絶滅が危惧される動物 ② ライチョウは日本の高山帯に生息する鳥。減少傾向にあり、約1700羽と推定されています。キツネなどの捕食者の増加やシカなどの食害による高山植生の破壊などが減少の要因と考えられています。

ライチョウ

* 絶滅危惧種を、自然の生息地の外において保全すること。特に、動物園や植物園などで、絶滅危惧種を飼育・繁殖・栽培すること

動物園で会いたい
日本の

生きものたち

日本では絶滅が危惧される野生生物が約3,596種リストアップされています。豊かな自然環境を守るため、絶滅回避のための取り組みが行われています。そのひとつが動物園での保全。動物園ではそれら希少動物と出会えます。

左・コウノトリ
右上・ニホンザル
右下・タヌキ



東京都日野市程久保7-1-1
TEL 042・591・1611
9時30分～17時 水曜休
(祝日や振替休日、
都民の日の場合は翌日休)

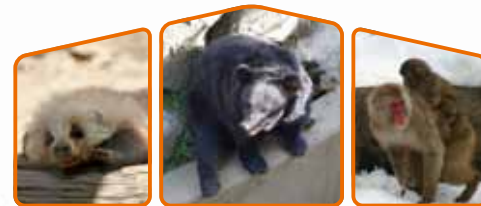
多摩動物公園

丘陵地の自然をいかした広大な園内に、檻ではなく壕で仕切り、動物たちをできるだけ自然な形で展示しています。

現在、飼育している動物は約320種。アジア園、オーストラリア園、アフリカ園、昆虫園など生息地や種類に分かれて展示されています。コウノトリやタヌキといった日本産の動物はアジア園で出会えます。また野生生物保全活動の拠点でもある「野生生物保全センター」では、トキ(非公開)など絶滅危惧種の保護増殖に積極的に取り組んでいます。

園内には日本生態園があり、ツキノワグマやニホンザル、ニホンジカなどの日本固有の動物たちを見ることができます。アフリカ園ではゾウやキリン、ライオンといった大型の人気動物がいます。また2011年からツシマヤマネコが飼育されていて、エサを食べるところを見ながら、特徴や飼育のエピソードなど、飼育係の話やイベントもあります。

左・アナグマ
中・ツキノワグマ
右・ニホンザルの親子

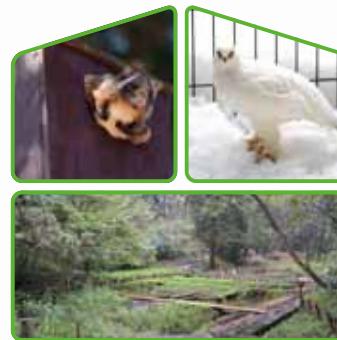


盛岡市動物公園

岩手県盛岡市新庄字下八木田60-18
TEL 019・654・8266
9時30分～16時30分
水曜・冬期(12月1日～翌3月12日)休
冬期臨時開園あり

草地や水辺の多い多様な自然環境の中の動物園。動物たちとふれあう体験や催し物が豊富。

左上・ムササビ、
右上・スバルバルライチョウ
下・「とんぼの沢」



富山県富山市古沢254 TEL 076・434・1234
9時～16時30分(12月1日～翌2月末日 10時～15時30分) 3月1日～3月14日休

富山市ファミリーパーク

動物・里山・地域をテーマに「人も森も元気になる新しい里山づくり」を目指した動物園。

日本の動物たちを中心に里山の自然環境の中で生態展示しています。郷土の夜行性小動物を展示する郷土動物館のほか、水辺に住む生きものに出会える「とんぼの沢」や野生のムササビが暮らす「ムササビ村」、四季折々の野鳥をじっくり観察できる「野鳥観察舎」などがあります。2015年よりライチョウの飼育・繁殖に取り組んでいます。また北極圏のノルウェーにいるスバルバルライチョウを展示しています。



日橋 一昭
(狭山市智光山公園こども動物園 園長)

にはばかずあき 大宮公園小動物園長、埼玉県こども動物自然公園園長を経て、2014年より現職。様々なアイデアで園を改革中。

INTERVIEW

動物園は「いのちの博物館」

Q 日本動物園水族館協会は、2015年に環境省と「生物多様性の保全に関する基本協定書」を締結し、この取り組みを推進しています。協会の生物多様性委員会委員長ですね。
A 委員会発足後からなので、5年目になります。各園個別に行っていた、絶滅危惧種の保全を全体で考えることができるようになり、ツシマヤマネコやライチョウなど、全国の様々な園で飼育だけでなく、繁殖も行っているところも出てきました。
Q それら以外の動物も？
A 私たちの「狭山市智光山公園こども動物園」は小さな園ですが、保全プログラムに沿って少しずつ絶滅危惧種を増やしています。ワオキツネザル、コツメカワウソ、ホウシャガメ、マナヅル、タンチ

ヨウなど約10種類。そのほとんどが、ここ1年で増えた動物です。
Q その動物を飼育だけでなく、展示もされていますね。
A ゾウやキリンといった、スター動物に比べて、地味なのが問題点ですね。動物園は「いのちの博物館」として、生きた動物たちを展示する場所で、多様性を見せる場所でもあります。いつの時代でも動物園はレクリエーションの場というのが一般的なイメージです。しかし遊びから癒しへと、レクリエーションの質が変化してきました。
Q テンジクネズミが展示終了時間に、ふれあい広場から橋を渡って動物舎まで走って帰る姿が人気ですね。冬はカピバラ温泉、サル山温泉として天然温泉に入る姿を見ることが出来ます。

A 動物たちの魅力に気づいてもらう。展示方法でもおもしろく出来ます。動物園では、まず動物たちをリスベクトしてほしいと思っています。近頃は動物の誕生会が行われたり、全国から手紙が届いたり、擬人化している部分もあるかもしれませんが、動物自体に興味を持ってもらえるようになりました。入園者も多様化しているのかもしれない。
Q 動物園をもっと楽しむためのアドバイスはありますか？
A 我々専門家でも、人は知っている動物しか見ないという傾向があるようです。動物園に行ったら、知らない動物のことをよく見てみてください。変な名前前の動物や不思議な姿の動物がいるはず。まず興味を持って見ることが、知識の始まりです。

左・タンチョウ
右上・エゾクロテン
右下・シマフクロウ



釧路湿原に代表される湿地と森林が入り組んだ北海道東部の自然環境で暮らす動物たちについて知るための北海道ゾーンがあります。エゾクロテン、エゾヒグマ、タンチョウなど、北海道で見られる動物や植物が展示されています。また世界で初めて、絶滅危惧種の1種であるシマフクロウの繁殖に成功していて、国内で唯一のシマフクロウ保護増殖センターとしての役割を担っています。

釧路市動物園

広大な敷地に、北海道の動物たちがたくさん。国内最東、北海道最大の動物園。

北海道釧路市阿寒町下仁々志別11
TEL 0154・56・2121
9時30分～16時30分
(体育の日翌日～4月9日 10時～15時)
12月から2月の水曜休



井の頭自然文化園

井の頭公園の一角に位置し、武蔵野の面影を残す雑木林を背景にした動物園。

「武蔵野ハビタツ」とよばれる大放牧場には、ニホンジカの亜種のヤクシカが飼育されています。ニホンリスの生態を間近に見られる「リスの小径」をはじめ、近所の自然をテーマにした「いきもの広場」など、動物や自然を感じられる施設が多くあります。また2006年より、ツシマヤマネコを飼育しており繁殖をめざして様々な取り組みを行っています。

上・ヤクシカ
左下・ツシマヤマネコ
右下・ニホンリス



東京都武蔵野市御殿山1-17-6
TEL 0422・46・1100
9時30分～17時(入園16時まで)
月曜休(祝日や振替休日、都民の日の場合は翌日休)

生物多様性のことを多くの人に
知ってもらうために、2012年9
月に旗揚げした様々な団体のキ
ャラクターによる広報組織です。



生物多様性 キャラクター応援団

～全国のキャラクターからのおしらせ～

ベストドレッサー・パンダ
ダンディーダン

カワウソの
ウズマキマキコ

(高知県香南市)



オシャレが大好きなドレッサーパ
ンダの男の子ダンちゃんとウズマ
キ泳法が得意なカワウソの女の子
マキちゃん。高知のきれいな川や
山が大好きという2人。高知県香
南市にある動物園「高知県立のい
ち動物公園」のプロモーションや
イベント出演するのがお仕事です。

認定連携事業



生物多様性を守るために連携して取り組んでいる
事業を認定し、広報活動を行っています。

『いきもの学びねっと』

公益社団法人 日本動物園水族館協会

生きものや自然環境について楽しく学ぶ場所
ある動物園や水族館。日本動物園水族館協
会に加盟する動物園や水族館では、学びの工夫を凝
らした展示やプログラムが用意されています。それら
の教育普及のプログラムや企画展・特別展といった「学
びのプログラム」を集め、
地域や内容によって検
索できるポータルサイト。
ほかのホームページと
のリンク網を広げ、ア
クセスする機会を増や
していきます。



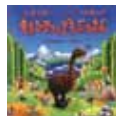
©Aya Uruguchi

<http://www.jaza.jp/edu/program.html>

100

「生物多様性の本箱」から ～みんなが生きものとのつながる100冊～

生物多様性の理解や普及啓発の
ためにUNDB-J推薦「子供向け図書」を
選定しています。



『もうひとつのどうぶつえん』
絶滅どうぶつものがたり

作＝冨田朋子
絵・構成・立体制作＝宮川アジュ
出版社＝ひさかたチャイルド/
チャイルド本社

ドードー、ジャイアントモア、
リョコウバド、ニホンオオカ
ミなど絶滅した10種の動物たちを
紹介。もう会えない動物たちのこと
を知りながら、環境のこと、生きも
ののことを考えるきっかけになる絵
本です。解説ページでは、子供に話
したくなる、興味深いデータも掲載
されています。

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)

* UNDB = United Nations Decade on Biodiversity

「国連生物多様性の10年」の決定を受けて、2011年9月に設立。生物多様性の
主流化を目指して国内外のあらゆる主体が連携し様々な取組を進めています。

編集・発行

国連生物多様性の10年日本委員会事務局(環境省自然環境計画課生物多様性施策推進室)

ホームページ URL : <http://undb.jp/> メールアドレス : shizen-suishin@env.go.jp

